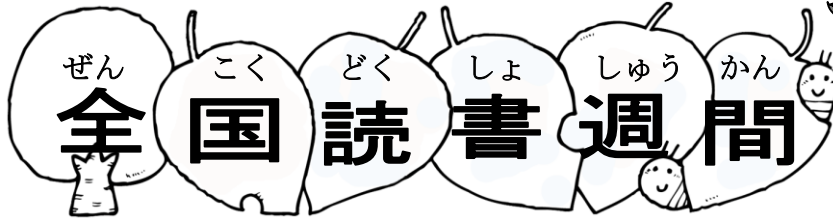




令和5年10月5日
福平小学校図書室

朝・夕は少し“秋”を感じられるようになってきました。スポーツの秋・食欲の秋・芸術の秋・そして読書の秋。短い“秋”を楽しみましょう。

読書の秋です



期間：10月27日～11月9日

1924年に始まった「図書館週間」がその後「読書週間」と変わり、1948年から「文化の日」の前後にまたがる2週間の期間に行われるようになりました。良い本を、たくさんの人に読んでほしいと、書店を始め図書館などでさまざまな催し物が行われます。

学校でも、11月は「読書月間」として、読書に関する催しが行われます。ぜひこの機会に家族そろって、読書の時間を作ってみましょう。

「あたらしい本がでます」

10月は昼休みにあたらしい本がたくさんでます。

まずは、5日・6日に第1回目のあたらしい本がでます。19日・20日に第2回目があります。どちらも木曜日が、2年生～3年生向きです。

1年生は学級の図書の間を利用して絵本を中心にしています。

この時期、あたらしい本のコーナーにちょっと注目してみてくださいね。

あたら ほん しょうかい 新しい本の紹介

10月の新刊の第1回目の新刊です。

(希望の本が借りられないかもしれませんが、そのときは ごめんなさい。)



「大ピンチずかん」

鈴木 のりたけ・作

みなさんも ふだんこんな「ピンチ」になったことはありませんか？

たとえば、「パックのみかんジュースのストローが、中に入っていない、入口ちかくにみえるのに、とれない」とか。“あるあると思わず

うなずいてしまうピンチや“そんなことはないでしょう”と思うようなピンチまで。

“小ピンチ”から“大ピンチ”まで、たのしめる絵本です。